

# 社会科

## 1 学習の目的

社会科の目標には大きく2つあります。第一に、社会の形成者の一員として備えるべき教養（知識）を身につけることです。その内容は、「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の3つから成り立っています。これらはただ暗記するのではなく、様々な資料の中から適切に収集、選択、処理、活用して考えたり判断することで身につくことが望ましいのです。第二に、どのようにしたら社会（世の中）の問題を解決できるかという「課題解決の方法」を身につけることです。世の中には様々な意見があります。多面的な見方や考え方をしてみることで、偏りがなく広い視野に立った調査方法を身につけることが望ましいのです。

こうした目標を達成するために東中学校社会科教室では、まず楽しい授業を心がけ「社会科が好きで、進んで学習に取り組む」生徒を増やすことを目指します。

## 2 学習内容

裏面参照 ※計画や内容の変更の可能性があります。

## 3 評価の方法

評価の観点		着目している点
項目	達成目標	
知識・ 技能	社会的な事象に関する基本事項を理解し、その知識を身につけている 各種の資料から有用なものを適切に選択し、効果的に活用するとともに、調査結果などをまとめることができる	評価テスト中の資料問題の解答状況、授業中の発言内容、提出物の内容、ノートのまとめ方など 評価テストの総合点数、小テストの結果など
思考・ 判断・ 表現	社会的な事象を様々な角度から考え、正しく判断してその結果を表現することができる	評価テスト中の記述問題の解答状況、授業中の発言内容、人権等の作文やレポートの記述内容 など
主体的に取り組む態度	社会的な事象に関心を持ち、意欲的に追究することができる	忘れ物の有無、授業中の姿勢、発表力、作業の様子、提出物の状況、自己評価表 等

・各種テストは、得点そのまま出来映えとして評価できますが、それ以外の項目は次のような基準で判定し、最終的には点数（数値）化して評価しています。

- ・「授業中の姿勢・発表力」＝私語なく話を聞いている・ノートを取れている・挙手して発言している。
- ・「作業の様子」＝指示をしっかりと聞いてすぐに始めようとしている・私語なく集中して行っている・ていねいに行っている。
- ・「提出物の状況・内容」＝締め切り期日に間に合うように出せる・指示通りに完成できる・ていねいに仕上げられる・内容を工夫している。
- ・「授業中の発言内容」＝資料に基づいて発言している・様々な面から考えている・自分の言葉で表現できている・説得力のある内容である。
- ・「作文・レポートの記述内容」＝指示通りの内容が書かれている・わかりやすく表現している・自分なりの工夫をしている・発展性（深まり）のある内容になっている。

## 4 授業の約束

- 教科書、学習課題プリント、資料集を中心に授業を進めていきます。
- 教材の忘れ物をしないこと。
- 意欲的に授業に参加しましょう。  
(挙手・発表・聞く態度・課題への取り組み・作業・ノートの取り方など)

## 5 自主学習のすすめ

- 毎日、復習をして基礎的・基本的内容を身に付けましょう。
- 長期休みの課題は、計画的に取り組ましましょう。

## 2 学年学習内容

	地理的分野	歴史的分野
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の地域的特色と地域区分</li> <li>1 地形から見た日本の特色</li> <li>2 気候から見た日本の特色</li> <li>3 自然災害と防災・減災への取り組み</li> <li>4 人口から見た日本の特色</li> <li>5 資源・エネルギーから見た日本の特色</li> <li>6 産業から見た日本の特色</li> <li>7 交通・通信から見た日本の特色</li> <li>8 日本の地域区分しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸幕府の成立と対外政策</li> <li>1 江戸幕府の成立と支配の仕組み</li> <li>2 さまざまな身分と暮らし</li> <li>3 貿易の振興から鎖国へ</li> <li>4 鎖国下の対外関係</li> <li>5 琉球王国やアイヌ民族との関係</li> <li>○産業の発達と幕府政治の動き</li> <li>1 農業や諸産業の発達</li> <li>2 都市の繁栄と交通路の整備</li> <li>3 幕府政治の安定と元禄文化</li> <li>4 享保の改革と社会の変化</li> <li>5 田沼意次の政治と寛政の改革</li> <li>6 新しい学問と化政文化</li> <li>7 外国船の出現と天保の改革</li> </ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九州地方</li> <li>1 九州地方をながめて</li> <li>2 自然環境に適応する人々の工夫</li> <li>3 自然の制約の克服と利用</li> <li>4 持続可能な社会をつくる</li> <li>○中国・四国地方</li> <li>1 中国・四国地方をながめて</li> <li>2 交通網の整備と人や物の移動の変化</li> <li>3 交通網が支える産業とその変化</li> <li>4 活用される交通・通信網</li> <li>○近畿地方</li> <li>1 近畿地方をながめて</li> <li>2 大都市圏の形成と都市の産業</li> <li>3 ニュータウンの建設と都市の開発</li> <li>4 変化する農村の暮らし</li> <li>○中部地方</li> <li>1 中部地方をながめて</li> <li>2 特色ある東海の産業</li> <li>3 特色のある中央高地の産業</li> <li>4 特色ある北陸の産業</li> <li>○関東地方</li> <li>1 関東地方をながめて</li> <li>2 世界と結び付く東京</li> <li>3 東京を生活圏とする人々の暮らしと交通</li> <li>4 関東地方の多様な産業</li> <li>○東北地方</li> <li>1 東北地方をながめて</li> <li>2 祭りや年中行事の伝統とその変化</li> <li>3 伝統工芸品の生産・販売とその変化</li> <li>4 過去の継承と未来に向けた社会づくり</li> <li>○北海道地方</li> <li>1 北海道地方をながめて</li> <li>2 自然の制約に適応する人々の工夫</li> <li>3 自然の制約や社会の変化を乗り越える</li> <li>4 自然の特色を生かした産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欧米における近代化の進展</li> <li>1 イギリスとアメリカの革命</li> <li>2 フランス革命</li> <li>3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり</li> <li>4 ロシアの拡大とアメリカの発展</li> <li>5 産業革命と資本主義</li> <li>○欧米の進出と日本の開国</li> <li>1 欧米のアジア侵略</li> <li>2 開国と不平等条約</li> <li>3 開国後の政治と経済</li> <li>4 江戸幕府の滅亡</li> <li>○明治維新</li> <li>1 新政府の成立</li> <li>2 明治維新の三大改革</li> <li>3 富国強兵と文明開化</li> <li>4 近代的な国際関係</li> <li>5 国境と領土の確定</li> <li>6 領土をめぐる問題の背景</li> <li>7 自由民権運動の高まり</li> <li>8 立憲国家の成立</li> <li>○日清・日露戦争と近代産業</li> <li>1 欧米列強の侵略と条約改正</li> <li>2 日清戦争</li> <li>3 日露戦争</li> <li>4 韓国と中国</li> <li>5 産業革命の進展</li> <li>6 近代文化の形成</li> </ul>
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の在り方</li> <li>1 身近な地域の課題を見つける</li> <li>2 課題を調査する</li> <li>3 要因を考察する</li> <li>4 解決策を構想する</li> <li>5 地域の将来像を提案する</li> </ul>	